

「西の都」日本遺産「降格」文化庁初の取り消しとの報道に驚がくし、文化財を観光振興に活用する「日本遺産」制度に対し怒りを覚え質問に立ちました。福岡・佐賀両県「古代日本の『西の都』の認定」が取り消されたことは残念でなりません。「西の都」は、アジアとの交流によって発展してきた福岡県の歴史と文化の象徴でもありました。古代大宰府の魅力を語る「大野城」「水城」「大宰府」など文化財30の構成遺産の価値は2020年に広域型として認定されたことと喜んでいたのであります。それが今回観光事業としての視点から集客力の高い九州国立博物館や太宰府天満宮エリアからの周遊などが指摘項目となり、降格となったことに疑義を感じました。

服部知事からは、条件付き認定から「候補地域」に変更された今回の審査結果は甚だ残念で、東アジアと日本の文化が行き交う国際交流拠点としての長い歴史や特別史跡の大宰府跡や大野城跡といった構成文化財



県民の森は、豊かな自然が広がり多様な野生生物が生息するなど、ワンヘルスの理念を実感できる格好の森林公園です。四王寺県民の森をワンヘルスを象徴する施設として「ワンヘルスの森」に位置づけています。

(1) 「ワンヘルスの森」でしか体験できない森林浴を実現

- ① 森林浴による血糖値低下やストレス減少といった森林医学に基づく森林浴の効能を視覚化。
- ② 森林内の風景、音、香りを再現した「バーチャル森林浴」を導入することにより、屋内でも森林浴を提供。
- ③ 大野城跡の当時の姿や希少な動植物を子どもから大人まで幅広い年齢層に人気のAR(拡張現実)で再現することにより、歴史や生物多様性を体感。
- ④ 人と愛玩動物が共に森林浴を楽しめるふれあいスペースやワンヘルスを象徴するセンダンを使用した展望デッキを整備。



バーチャル森林浴



展望台

(2) 「ワンヘルスの森 四王寺ビジターセンター(仮称)」を整備

- ① 人獣共通感染症や生物多様性の保全等が学べる展示学習室を整備するとともに、ワンヘルスセンターの取組内容や研究成果等を発信。
- ② 修学旅行や校外学習のほか、県外からの視察にも対応できる最新のデジタル機材を備えた研修室を整備。
- ③ ビジターセンター周辺に柔軟な営業が可能なキッチンカーを導入。
- ④ 樹木を活かしたライトアップやイルミネーションにより、幻想的な空間を演出。



展示学習室



キッチンカー

(3) 今後のスケジュール

令和7年度から基本計画の作成に着手し、令和10年度中の供用開始を目指します。

R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
基本計画策定	基本・実施設計	工事	10年度中 供用開始



の価値や魅力を損なうものではないと認識しているとの答弁でした。寺崎教育長は、構成文化財である大宰府跡と水城跡は、大正10年に日本最初の国史跡に指定されており、さらに大野城跡と基肄城跡が加わって、戦後に揃って特別史跡となっていることは、本県の文化財が、歴史的な価値や重要性が高く評価されているからと答弁されました。

そこで、「大野城心のふるさと館」の赤司善彦館長と、その歴史的価値をご理解いただくために対話方式で説明をさせていただきます。

じゅんごの素朴な質問



井上順吾



赤司館長

大宰府跡を囲むようにして位置する大野城跡・水城跡・基肄城跡 古代にはこれらの施設には厳重な警備がなされていました。



左のイラストは、大宰府政庁や都市を護るように水城や大野城そして基肄城が配置されていますね。はい、大宰府の役割の一つは外敵の本土への侵攻を阻止することです。そのため、海岸部などに「防人(さきもり)」という東国の兵士を配備し、敵の動向を知らせる「のろし台」を整えました。奈良時代には、筑前国に4つの軍団(それぞれ千人)も置かれていました。それ以外に大宰府政庁や各種施設さらには大野城も警備していたことが文献記録から推測できます。国防軍だけでなく、大宰府の各施設を警備することも大切だったのでですね。ところで奈良時代に、大宰府の都市には何人ぐらいの人が住んでいたのですか。大宰府の役所で働く役人は末端の人まで数えると千人は居たと思います。さらに税を運んできた人や動員されてきた人たちのうち、居付いた人たちも入れると、その倍以上は住んでいたかもしれません。